

川越町のりあいタクシーの利用者調査

報 告 書

令和6年2月

川 越 町

目 次

序 章 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 報告書の見方	1
第1章 回答者のプロフィール	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 居住地	3
第2章 移動手段について	4
(1) 日常的な交通手段	4
(2) 自動車の運転免許証の保有状況	5
第3章 のりあいタクシーの利用状況について	6
(1) のりあいタクシーの利用状況	6
(2) 利用目的	9
(3) 同乗者	12
第4章 のりあいタクシーの評価について	13
(1) のりあいタクシーの満足度	13
(2) のりあいタクシーの再度の利用	14
第5章 のりあいタクシーの今後の意向について	15
(1) のりあいタクシーの料金	15
(2) タクシーの初乗り料金の補助	16
(3) タクシーでの移動範囲	17
(4) ふれあいバスとの比較	18
(5) 今後の地域公共交通の意向	19

(1) 調査の目的

本町では新たな公共交通として、のりあいタクシーの実証実験を令和5年10月から12月の3か月間実施しました。今後の本町の地域公共交通の方針を検討する上で、実証実験で運行したのりあいタクシーについての評価・感想、今後の交通サービスの意向などを把握するためにアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の概要

本調査の概要は、以下に示すとおりです。

- 調査対象：川越町のりあいタクシーの利用者（町内在住の65歳以上の者）
- 調査方法：のりあいタクシーの運転者が手渡しでの調査票の配付、郵送での回収
- 調査時期：令和5年10月2日（月）～12月28日（木）の3か月間
- 対象者数：128人（延べ人数）
- 回収数：81票
- 有効回収数：81票
- 有効回収率：63.3%

(3) 報告書の見方

- 図中の構成比（％）は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は100.0%になりません。
- 表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。
- グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表わしています。

第1章 回答者のプロフィール

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。

◆男性 18.5%、女性 81.5%と、8割が女性の利用者となっています。

○回答者の性別をみると、「男性」が 18.5%、「女性」が 81.5%と、女性の割合が 63 ポイント高く、女性の利用が多くなっています。

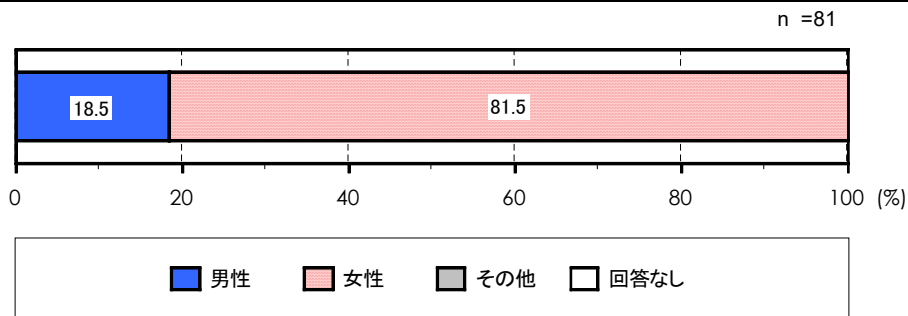


図 1-1 性別

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。

◆70 歳代、80 歳代の利用者で9割以上を占めています。

○回答者の年齢をみると、「80 歳代」が 51.9%で最も割合が高く、次いで「70 歳代」(44.4%)、「60 歳代」(1.2%)、「90 歳以上」(1.2%)となっており、多くが 70 歳代、80 歳代の利用者となっています。

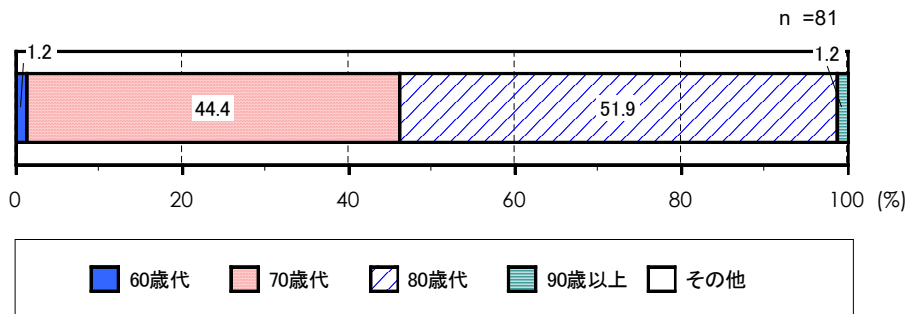


図 1-2 年齢

(3) 居住地

問3 あなたが住んでいる地区名をお答えください。

◆豊田一色地区、南福崎地区、豊田地区、当新田地区の利用者が多くなっています。

○回答者の居住地区をみると、「豊田一色地区」が22.2%で最も割合が高く、次いで「南福崎地区」(19.8%)、「豊田地区」(18.5%)、「当新田地区」(14.8%)と続いています。

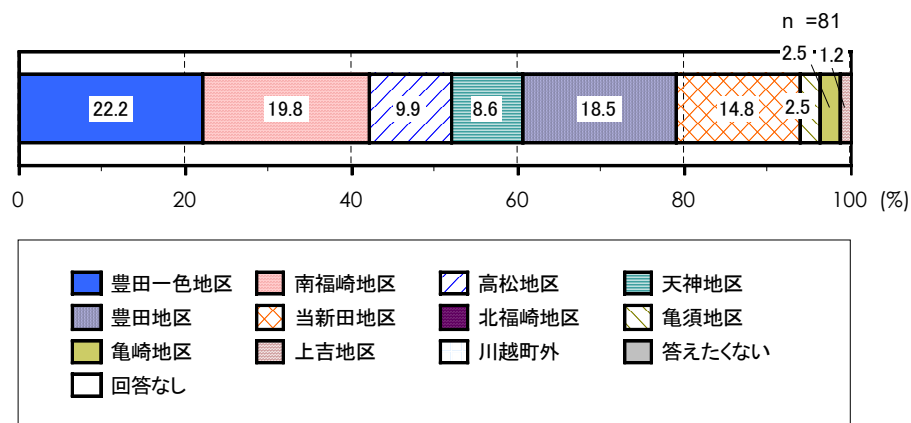


図 1-3 居住地

第2章 移動手段について

(1) 日常的な交通手段

問4 あなたが日常的に利用している交通手段で、あてはまるもの全てに○を付けてください。

◆日常的に利用する交通手段は、徒歩、家族の車、タクシー、ふれあいバスなどが多く、タクシー利用が半数以上を占めています。

○日常的に利用している交通手段は、「徒歩」が66.7%で最も割合が高くなっています。次いで「家族の車(送迎)」(58.0%)、「タクシー」(55.6%)、「ふれあいバス」(46.9%)、「鉄道」(34.6%)となっており、タクシー利用も半数以上を占めています。

○なお、その他としては「シニア電動車」(1人)となっています。

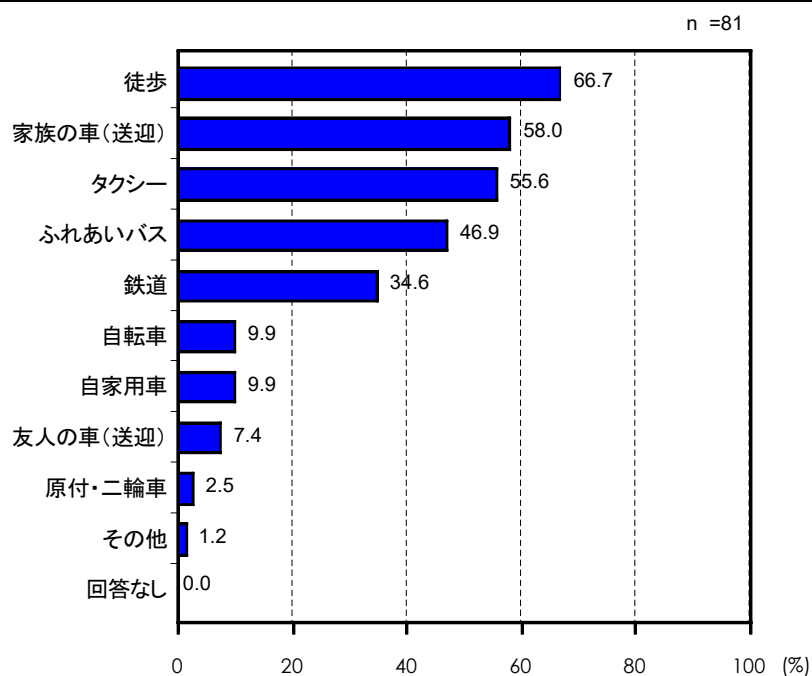


図 2-1 日常的な交通手段

(2) 自動車の運転免許証の保有状況

問5 あなたは自動車の運転免許証を持っていますか。

◆運転免許証を持っている方が48.1%で、「もともと持っていない」と「以前持っていたが返却した」を合わせて34.6%となっており、運転免許証を持っている方の利用が多くなっています。

○自動車の運転免許の保有については、「持っている」が48.1%、「以前持っていたが返却した」が24.7%、「もともと持っていない」が9.9%となっており、以前持っていたが返却した方も含め、運転免許証を持っていない方は34.6%を占めていますが、今回の利用者は運転免許証を持っている方の利用が多くなっています。

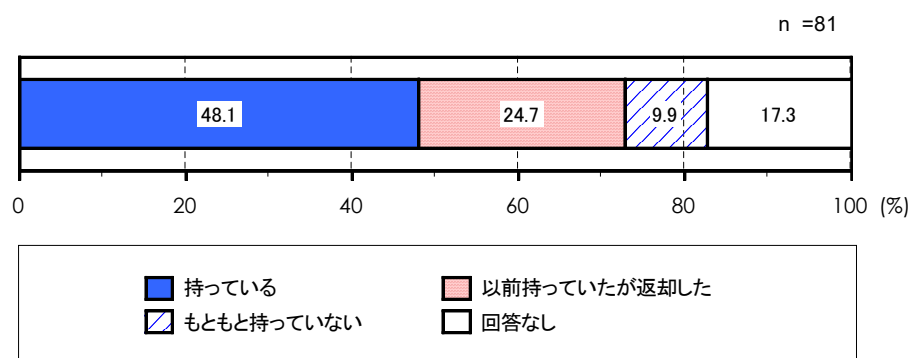


図 2-2 自動車の運転免許証の保有状況

第3章

のりあいタクシーの利用状況について

(1) のりあいタクシーの利用状況

問6 あなたが乗車した停留所、降車した停留所のそれぞれの名称と、乗車した時間帯をご記入ください。

- ◆乗車は南福崎公民館や麒麟公園、降車は近鉄伊勢朝日駅、川越町役場、総合センターなどが多くなっています。
- ◆また、乗車時間は午前9時台、午後1時台が多くなっています。

○乗車した停留所は「南福崎公民館」が11件で最も多く、次いで「豊田一色 麒麟公園」(8件)、「当新田(旧)消防車庫」(6件)、「南福崎 亀崎新田接骨院」(5件)、「豊田公民館」(5件)と続いています。

○降車した停留所は「近鉄伊勢朝日駅」が13件で最も多く、次いで「川越町役場」(12件)、「総合センター」(11件)、「南福崎 亀崎新田接骨院」(8件)、「天神公民館」(6件)、「川越あさひ眼科」(5件)、「近鉄川越富洲原駅東口」(5件)と続いており、鉄道駅、公共施設、病院などでの降車が多くなっています。

○乗車した時間帯は「午前9時台」が28.4%で最も割合が高く、次いで「午後1時台」(21.0%)、「午前10時台」(14.8%)、「午前12時台」(9.9%)と続いています。

①乗車した停留所



図 3-1-1 乗車した停留所

②降車した停留所

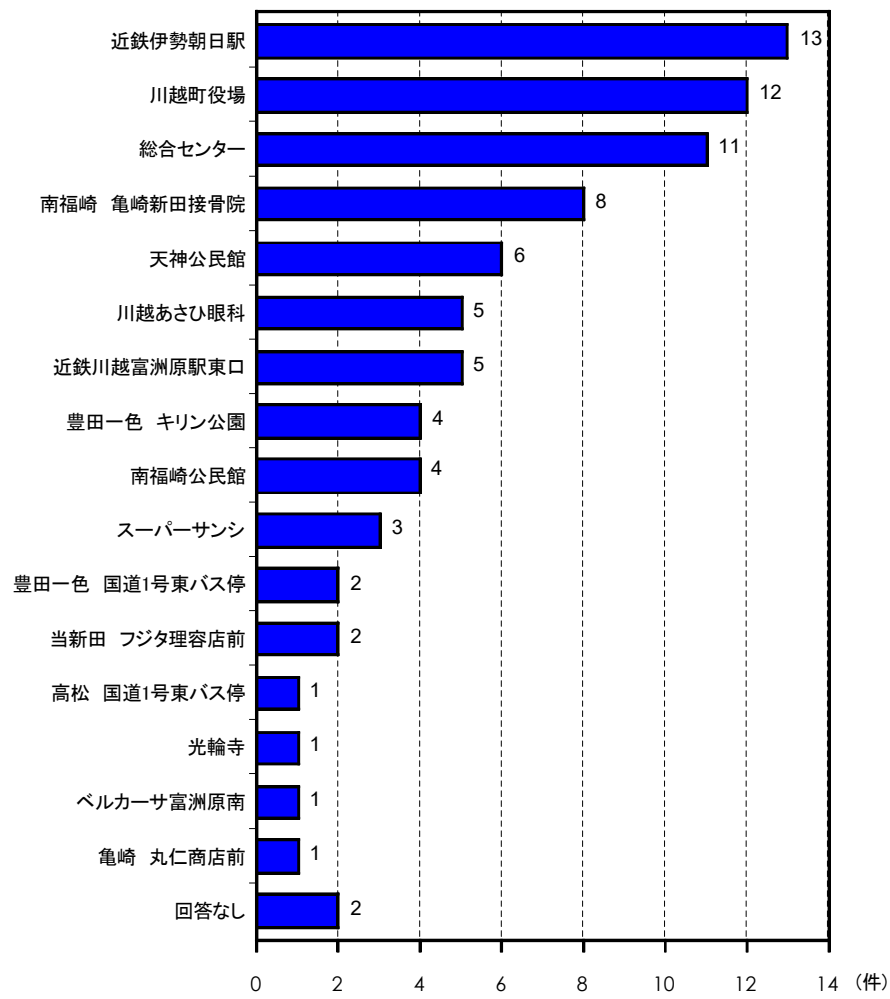


図 3-1-2 降車した停留所

③乗車した時間帯

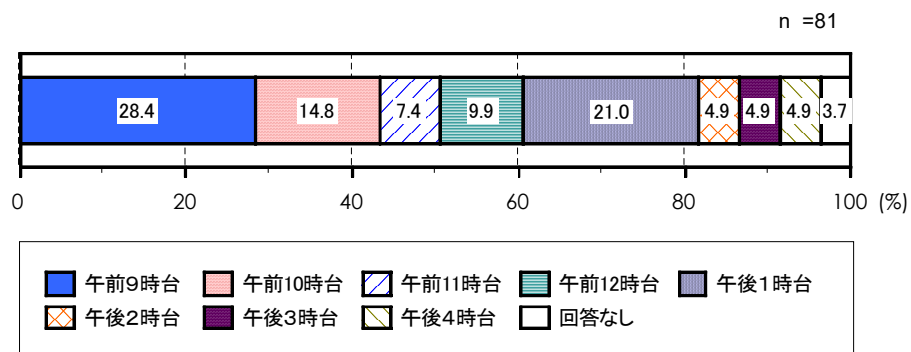


図 3-1-3 乗車した時間帯

(2) 利用目的

問7 今回、のりあいタクシーを利用した目的について、あてはまるもの全てに○を付けてください。

◆通院、習い事、買い物、公共施設への用事での利用が多くなっています。

○のりあいタクシーを利用した目的は、「通院」が50.6%で最も割合が高くなっています。次いで「習い事」(24.7%)、「買い物」(13.6%)、「公共施設への用事」(11.1%)、「金融機関等への用事」(9.9%)、「飲食・レジャー」(7.4%)と続いています。

○その他については、「検診」が1名となっています。

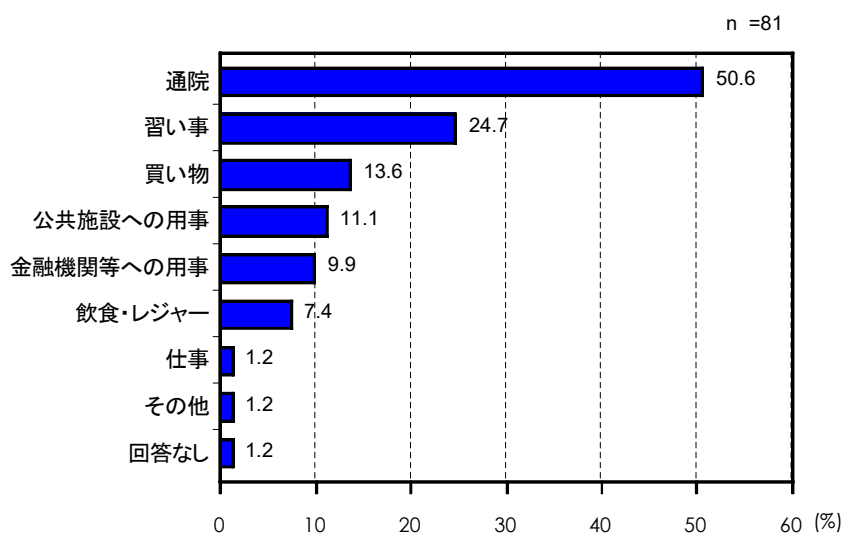


図 3-2 利用目的

【参考 乗車・降車・時間帯・目的】

乗車停留所		降車停留所	乗車時間	利用目的
総合センター	⇒	天神公民館	午後4時台	習い事
総合センター	⇒	天神公民館	午後1時台	通院 習い事
総合センター	⇒	ベルカーサ富洲原南	午前12時台	習い事
総合センター	⇒	天神公民館	午後3時台	習い事
豊田一色 国道1号東バス停	⇒	近鉄川越富洲原駅東口	午前9時台	通院 金融機関等への用事
豊田一色 屋敷ゴミステーション前	⇒	当新田 フジタ理容店前	午前11時台	通院 金融機関等への用事
豊田一色 屋敷ゴミステーション前	⇒	川越町役場	午後1時台	仕事
県営住宅豊田一色団地	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午前9時台	通院
豊田一色 キリン公園	⇒	南福崎 亀崎新田接骨院	午前9時台	通院
豊田一色 キリン公園	⇒	南福崎 亀崎新田接骨院	午前9時台	通院
豊田一色 キリン公園	⇒	南福崎 亀崎新田接骨院	午前9時台	通院
豊田一色 キリン公園	⇒	南福崎 亀崎新田接骨院	午前9時台	通院 公共施設への用事
豊田一色 キリン公園	⇒	南福崎 亀崎新田接骨院	午前9時台	通院
豊田一色 キリン公園	⇒	南福崎 亀崎新田接骨院	午前9時台	通院
豊田一色 キリン公園	⇒	南福崎 亀崎新田接骨院	午前9時台	通院
川越あさひ眼科	⇒	天神公民館	午前11時台	通院
南福崎斎場	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午前12時台	習い事
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午後1時台	習い事
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午後1時台	通院
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午前10時台	買い物
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午後1時台	買い物 習い事
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午後1時台	習い事
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午前10時台	飲食・レジャー
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午後1時台	習い事
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午後1時台	習い事
南福崎公民館	⇒	近鉄川越富洲原駅東口	午前12時台	買い物 飲食・レジャー
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午後1時台	習い事
南福崎公民館	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午前10時台	買い物 飲食・レジャー
南福崎 亀崎新田接骨院	⇒	豊田一色 キリン公園	午前12時台	通院
南福崎 亀崎新田接骨院	⇒	亀崎 丸仁商店前	午前10時台	通院
南福崎 亀崎新田接骨院	⇒	豊田一色 キリン公園	午前12時台	通院
南福崎 亀崎新田接骨院	⇒	豊田一色 キリン公園	午前12時台	通院
南福崎 亀崎新田接骨院	⇒	豊田一色 キリン公園	午前12時台	通院
マックスバリュ	⇒	川越町役場	午前10時台	公共施設への用事
マックスバリュ	⇒	川越町役場	回答なし	通院 買い物 習い事
光輪寺	⇒	総合センター	午後1時台	習い事
高松斎場	⇒	川越あさひ眼科	午前9時台	通院
高松松乃鯨前	⇒	近鉄川越富洲原駅東口	午前9時台	通院
高松 三重化糧(株)本社工場北側	⇒	川越町役場	午後2時台	公共施設への用事
高松代官屋ごみステーションNo.5前	⇒	総合センター	午後1時台	通院
高松八幡園	⇒	総合センター	午後1時台	習い事
高松八幡園	⇒	総合センター	午後1時台	習い事
天神公民館	⇒	川越町役場	午前9時台	通院
天神公民館	⇒	川越町役場	午前9時台	通院
近鉄川越富洲原駅東口	⇒	川越あさひ眼科	午前10時台	通院
近鉄川越富洲原駅東口	⇒	川越あさひ眼科	午前9時台	通院
近鉄川越富洲原駅東口	⇒	南福崎公民館	午後4時台	買い物 飲食・レジャー
豊田公民館	⇒	近鉄川越富洲原駅東口	午後4時台	通院
豊田公民館	⇒	川越町役場	午前10時台	通院
豊田公民館	⇒	川越町役場	午前11時台	通院

乗車停留所		降車停留所	乗車時間	利用目的
豊田公民館	⇒	川越町役場	午前9時台	通院
豊田公民館	⇒	近鉄川越富洲原駅東口	午前9時台	通院
KUMON 豊田教室前	⇒	総合センター	午後1時台	習い事
KUMON 豊田教室前	⇒	総合センター	午後3時台	習い事
KUMON 豊田教室前	⇒	豊田一色 国道1号東バス停	午前9時台	通院
KUMON 豊田教室前	⇒	総合センター	午後3時台	習い事
ひばり保育園	⇒	天神公民館	午前11時台	金融機関等への用事
ひばり保育園	⇒	天神公民館	午前11時台	金融機関等への用事
豊田 ぞう公園	⇒	総合センター	午後1時台	習い事
豊田 ぞう公園	⇒	川越町役場	午前10時台	通院 習い事 公共施設への用事
当新田 (旧) 消防車庫	⇒	総合センター	午前12時台	その他
当新田 (旧) 消防車庫	⇒	スーパーサンシ	午前10時台	買い物 金融機関等への用事
当新田 (旧) 消防車庫	⇒	スーパーサンシ	午前10時台	買い物 金融機関等への用事
当新田 (旧) 消防車庫	⇒	スーパーサンシ	午前9時台	買い物 金融機関等への用事
当新田 (旧) 消防車庫	⇒	川越あさひ眼科	午前11時台	通院
当新田 (旧) 消防車庫	⇒	川越あさひ眼科	午前10時台	通院
当新田 フジタ理容店前	⇒	近鉄伊勢朝日駅	午前9時台	金融機関等への用事
当新田 フジタ理容店前	⇒	総合センター	午後2時台	通院
当新田 フジタ理容店前	⇒	高松 国道1号東バス停	午前10時台	公共施設への用事
当新田 フジタ理容店前	⇒	川越町役場	午前9時台	通院 公共施設への用事
亀須消防車庫	⇒	豊田一色 国道1号東バス停	午前9時台	通院
亀崎 丸広プロパン前	⇒	川越町役場	午後1時台	公共施設への用事
亀崎 (有) 牧野宏水産前	⇒	総合センター	午後1時台	公共施設への用事
上吉防災倉庫 (朝明川左岸)	⇒	光輪寺	午前9時台	通院
近鉄伊勢朝日駅	⇒	南福崎公民館	午後2時台	買い物
近鉄伊勢朝日駅	⇒	南福崎公民館	午後4時台	飲食・レジャー
近鉄伊勢朝日駅	⇒	当新田 フジタ理容店前	午後2時台	通院
近鉄伊勢朝日駅	⇒	南福崎公民館	午後3時台	買い物 飲食・レジャー
回答なし	⇒	回答なし	回答なし	回答なし
回答なし	⇒	回答なし	回答なし	公共施設への用事

(3) 同乗者

問8 今回、のりあいタクシーを利用した際に同乗者はいましたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

◆のりあいタクシーで運行しましたが、同乗者がいない本人のみが85.2%を占め、あいのり形式になったのは12.3%となっています。

○今回、のりあいタクシーで運行したが、同乗者の有無について、「本人のみ」が85.2%で最も割合が高くなっています。次いで「65歳以上の相乗り同乗者」(12.3%)、「65歳以上の親族、知り合い」(4.9%)となっています。

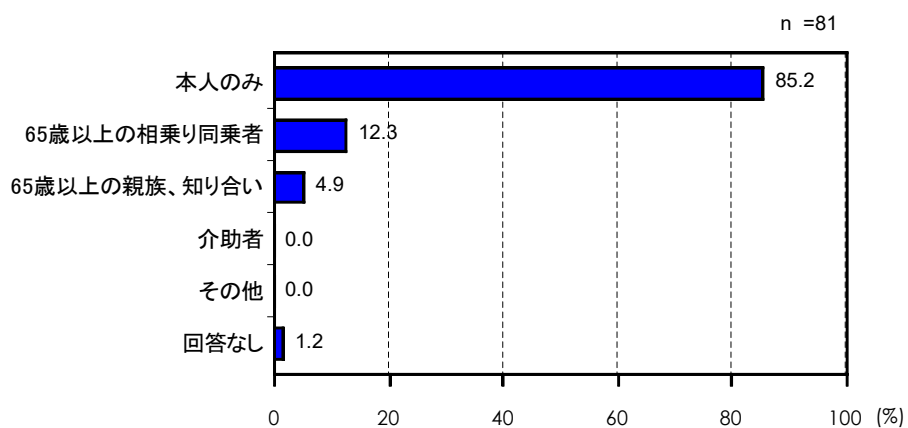


図 3-3 同乗者

第4章

のりあいタクシーの評価について

(1) のりあいタクシーの満足度

問9 のりあいタクシーについて、各項目の満足度を教えてください。該当する番号に○印をつけてください。

- ◆満足度の高い項目は「④目的地までの所要時間」となっています。
- ◆逆に不満度の高い項目は「⑦料金（1回300円）」と「利用時間（午前9時～午後4時半）」となっています。

- 「①利用のしやすさ」は満足 63.0%、普通 28.4%、不満 3.7%となっています。
- 「②停留所までの距離」は満足 60.5%、普通 32.1%、不満 4.9%となっています。
- 「③停留所の周辺環境」は満足 53.1%、普通 37.0%、不満 3.7%となっています。
- 「④目的地までの所要時間」は満足 76.5%、普通 17.3%、不満 1.2%となっています。
- 「⑤相乗り乗車について」は満足 33.3%、普通 33.3%、不満 9.9%となっています。
- 「⑥利用時間（午前9時～午後4時半）」は満足 50.6%、普通 30.9%、不満 13.6%となっています。
- 「⑦料金」は満足 49.4%、普通 33.3%、不満 14.8%となっています。

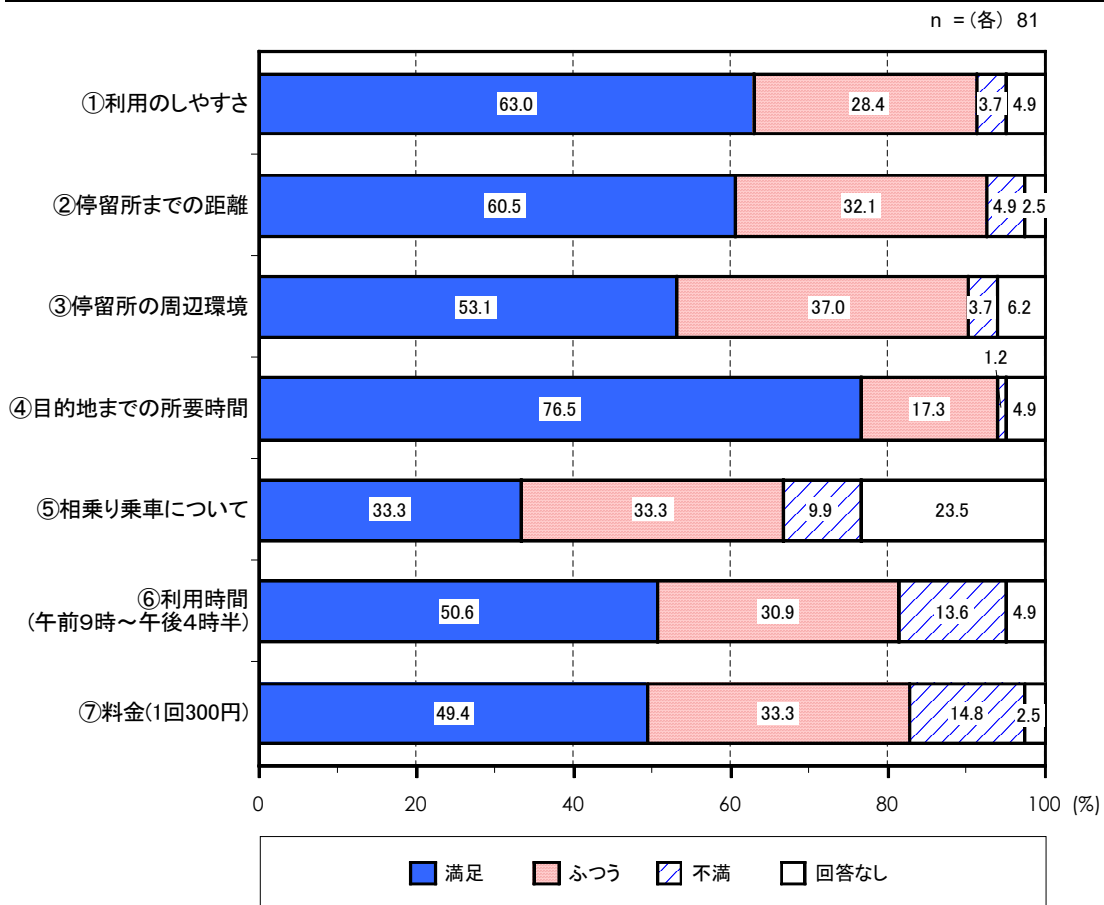


図 4-1 のりあいタクシーの満足度

(2) のりあいタクシーの再度の利用

問 10 のりあいタクシーをまた利用したいと思いますか。あてはまるもの一つに○を付けてください。

◆のりあいタクシーについては「利用したい」と「場合によって利用したい」を合わせて96.3%を占めています。

○のりあいタクシーの再度の利用については、「利用したい」が56.8%、「場合によって利用したい」が39.5%、「利用したくない」が2.5%となっています。「利用したい」と「場合によって利用したい」を合わせ、96.3%を占めています。

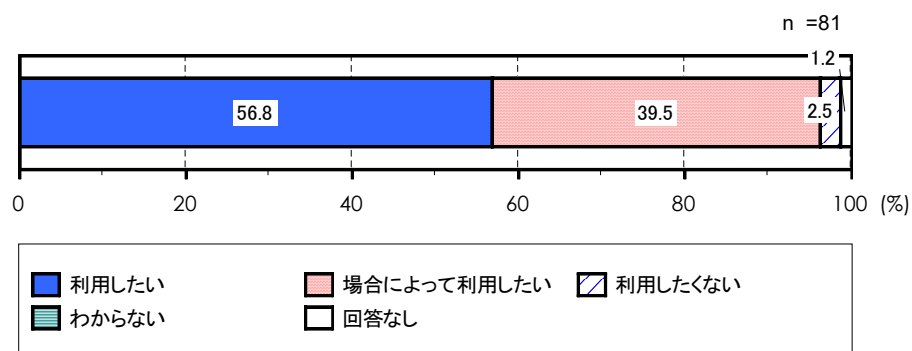


図 4-2 のりあいタクシーの再度の利用

第5章

のりあいタクシーの今後の意向について

(1) のりあいタクシーの料金

問 11 のりあいタクシーの料金について、いくらまでなら利用したいですか。あてはまるもの一つに○を付けてください。

◆のりあいタクシーの料金については、今回と同様の「300円」が最も多いが、次いで「500円」、「400円」も多く、平均は323円となっています。

○希望するのりあいタクシーの料金については、今回の実証実験と同様の「300円」が34.6%で最も割合が高くなっています。次いで「500円」(23.5%)、「400円」(14.8%)、「100円」(13.6%)、「200円」(12.3%)となっています。

○なお、全体の平均料金は回答なしを除いて323円となっています。

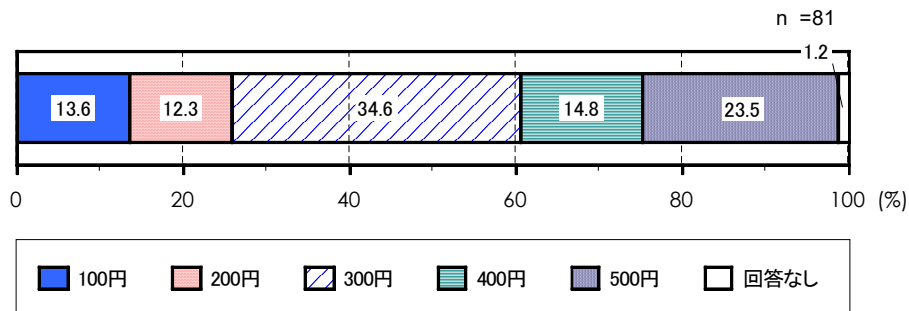


図 5-1 のりあいタクシーの料金

(2) タクシーの初乗り料金の補助

問 12 タクシー料金の補助制度（初乗り料金の補助）を実施した場合、利用したいと思いますか。あてはまるもの一つに○を付けてください。

◆タクシーの初乗り料金の補助については「利用したい」と「場合によって利用したい」を合わせて91.4%を占めています。

○通常のタクシーを利用し、行政等が初乗り料金の補助を行った場合の利用意向については「利用したい」が56.8%で最も割合が高くなっています。次いで「場合によって利用したい」(34.6%)、「利用したくない」(1.2%)、「わからない」(7.4%)となっています。「利用したい」と「場合によって利用したい」を合わせ、91.4%を占めています。

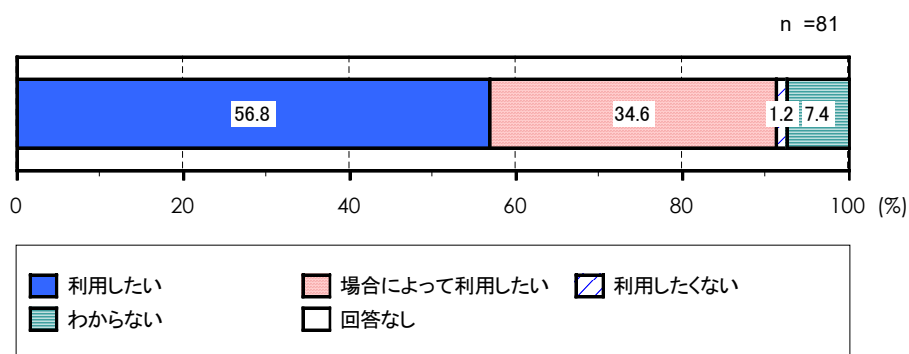


図 5-2 タクシーの初乗り料金の補助

(3) タクシーでの移動範囲

問 13 前問で「1. 利用したい」または「2. 場合によって利用したい」と回答した方へおうかがいします。

タクシー料金の補助制度（初乗り料金の補助）を実施した場合、どこまでの移動に利用したいですか。あてはまるもの一つに○を付けてください。

◆タクシーでの移動範囲は、町外への移動が77.0%を占めています。

○前問で通常のタクシーでの初乗り料金の補助を「1. 利用したい」または「2. 場合によって利用したい」と回答した74人が希望する移動範囲については「町外への移動」が77.0%、「町内の移動」が24.3%となっています。

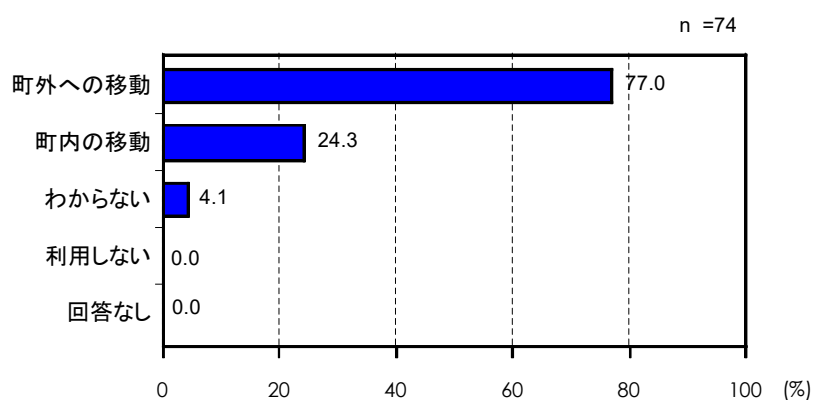


図 5-3 タクシーでの移動範囲

(4) ふれあいバスとの比較

問 14 町内にはふれあいバスが運行していますが、今回ののりあいタクシーは、ふれあいバスに比べて利用しやすいですか。あてはまるもの一つに○を付けてください。

◆のりあいタクシーの方が利用しやすいと考えている方が多くなっています。

○のりあいタクシーとふれあいバスを比較すると、「のりあいタクシーの方が利用しやすい」が64.2%、「どちらも変わらない」が23.5%、「ふれあいバスの方が利用しやすい」が6.2%、「わからない・ふれあいバスを利用したことがない」が1.2%となっており、今回ののりあいタクシーの方が利用しやすいと考えている方が多くなっています。

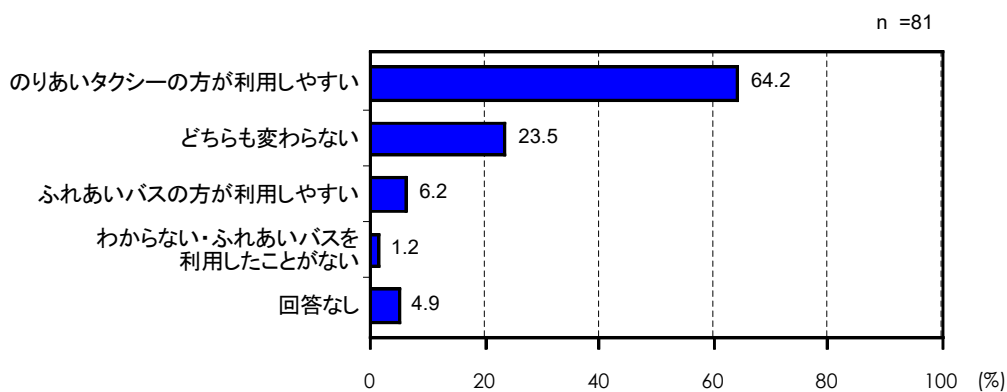


図 5-4 ふれあいバスとの比較

(5) 今後の地域公共交通の意向

問 15 住民の移動手段を確保するため、どのような取組をすべきだと思いますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

◆のりあいタクシーの継続運行を 75.3%の方が望んでいます。また、タクシーの初乗り料金の補助を 39.5%の方が、ふれあいバスの継続運行を 38.3%の方が望んでいます。

○今後の地域公共交通の意向については、「今回の「のりあいタクシー」を継続運行する」が 75.3%で最も割合が高くなっています。次いで「利用回数に制限はあるが、初乗り料金を補助する「タクシーチケット」を配付する」(39.5%)、「これまで運行している「ふれあいバス」を継続運行する」(38.3%)となっています。

○その他としては、「町外の病院や最寄り駅から移動する料金補助制度の実施」、「電車とふれあいバスの時間調整」、「ドアツードアの交通」となっています。

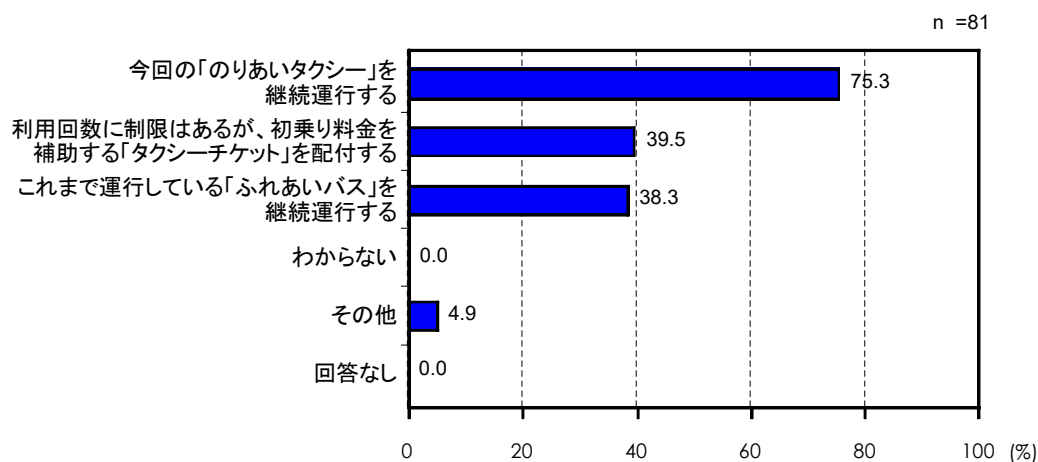


図 5-5 今後の地域公共交通の意向

川越町のりあいタクシーの利用者調査 報告書

令和6年2月

発行／川越町役場 企画情報課

TEL 059-366-7112 FAX 059-364-2568

E-mail : k-kikaku@town.kawagoe.mie.jp